

愛史協

愛知県史跡整備市町村協議会 会報 第22号
発行 平成25年3月31日

事務局 春日井市教育委員会 文化財課内
電話 (0568) 33-1113

本年度の主な活動は、以下のとおりです。

平成24年度 総 会

平成24年8月7日（火）、西尾市（会場：西尾市役所 51 会議室）において、愛知県教育委員会生涯学習監を来賓として開催しました（出席者：47 名）。議案（第 1～6 号議案）はいずれも原案のとおり承認されました。

議事終了後、「平成 25 年度県費予算」を企図した愛知県知事・愛知県教育委員会教育長宛の要望事項（「平成 25 年度県費予算に対する要望書」）について、愛知県教育委員会生涯学習監を通じて陳情しました。

1 議 案

- 第 1 号議案 平成 23 年度事業報告
- 第 2 号議案 平成 23 年度決算報告および監査報告
- 第 3 号議案 平成 24 年度事業計画（案）
- 第 4 号議案 平成 24 年度予算（案）
- 第 5 号議案 平成 25 年度県費予算要望事項（案）
- 第 6 号議案 規約の変更について

2 協議事項 次年度総会開催地について 平成 25 年度は知多市での開催が決定(平成 25 年8月予定)

3 視 察 西尾市歴史公園・実相寺



総会 議案審議



視察 西尾市歴史公園

研 修 会

平成 24 年 12 月 25 日（火）、阿久比町（阿久比町中央公民館 301 号室）において、「史跡の整備活用における行政管理の功罪」および「NPO 法人等地域連携の可能性と今日的課題」の二つのテーマを掲げて、講演 2 題とパネルディスカッションの構成により開催しました（出席者 32 名）。

講演は、特定非営利活動法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク（略称：ニワ里ねっと）理事長 赤塚次郎氏と新潟大学経済学部准教授 澤村明氏に講師を依頼しました。

講演後には、講師 2 名に渡邊樹氏（犬山市教育委員会歴史まちづくり課）をパネリストに加え、「まちづくりにおける文化遺産の価値評価と NPO 法人の関わり～犬山市域の文化遺産を事例として～」をテーマとして、犬山市域の文化遺産を実例として取り上げ、パネルディスカッションを行いました。

講 演

「NPO 活動としての史跡整備シンクタンク」 赤塚次郎氏（特定非営利活動法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク（略称：ニワ里ねっと）理事長）

「遺跡の経済評価—行政管理から公共経営への流れの中で—」 澤村 明氏（新潟大学経済学部准教授）

パネルディスカッション

「まちづくりにおける文化遺産の価値評価と NPO 法人の関わり～犬山市域の文化遺産を事例として～」

司会：浅田博造（春日井市教育委員会文化財課）

パネリスト：赤塚次郎氏・澤村明氏・渡邊樹氏（犬山市教育委員会歴史まちづくり課）

* 赤塚氏は行政の垣根を超えたユニークな文化遺産の活用事例のほか、地域との連携や AR（拡張現実）・インターネットを活用した情報発信の可能性を紹介されました。澤村氏は、全国の著名な史跡の観光資源としての実態を紹介され、価値評価の必要性を経済学の視点から述べられました。パネルディスカッションでは文化財を活かしたまちづくりを実践している犬山市の事例を通じて NPO 法人をはじめ地域や民間との連携の必要性と可能性や、観光資源としての魅力について意見交換を行いました。



赤塚次郎氏



澤村 明氏



渡邊 樹氏



研修会場の様子[上段]とパネルディスカッション[下段]

地区協議会

■ 尾張地区協議会

2月15日（金）、美浜町（会場：美浜町生涯学習センター 研修室）において開催しました（出席者 21 名）。

1 議 事

- (1) 文化財案内看板設置に対する助成について
- (2) 平成 26 年度県費予算要望事項について
- (3) 地区協議会開催地・役員ローテーションの変更について

2 講 演 「【あなたの町の文化財を観光資源に変える方法】」

～歴史マニアを驚愕させた、とある自治体の取り組みとは～

七種英康氏（東海古城研究会役員・愛知戦国史跡ナビゲーター）

○ 平成 25 年度は犬山市で開催

※美浜町の司会進行により、議事内容について協議・確認を行いました。議事 1 では、地元団体が設置する文化財案内看板への助成等について、意見交換を行いました。議事 3 では、新規加盟の稲沢市を加えたローテーションの変更案を協議し、平成 34 年度までの開催地が承認されました。

議事後の講演では、七種英康氏が歴史マニアの視点から「近江路・歴女ブロッガー旅紀行」等自治体のユニークな取り組みを紹介され、「見る」以外に「味・体験・お土産」の重要性を指摘されました。



尾張地区協議会 議事



尾張地区協議会 講演

■ 三河地区協議会

2月27日（水）、幸田町（会場：幸田町中央公民館 中ホール）において開催しました（出席者 14 名）。

1 視 察 深溝断層（県指定天然記念物）

2 議 事

- (1) 史跡・天然記念物の整備・管理と自然環境の保護
- (2) 平成 26 年度県費予算要望事項について

○ 平成 25 年度は豊橋市で開催

※深溝断層は昭和 20 年の三河地震により形成された地震断層で、平成 6 年の整備を契機に湿原化が進行した結果、希少生物・絶滅危惧種の生息地としての性格を有することとなり、史跡保護(除草等による環境整備・維持)による生物への影響が問題となっています。

議事では幸田町の司会進行により深溝断層を事例として意見交換が行われ、記念物保護と自然環境保護の両立に際して、各市町が抱える課題や問題意識が共有されました。



三河地区協議会 視察



三河地区協議会 議事

企画運営委員会

企画運営委員会は規約第 12 条に基づき、本会の事業計画等を策定するための実務担当者会議として設置するものです。平成 24 年度から新たに豊田市を委員に加え、会長（春日井市教育委員会教育長 木股哲夫）より、6 月 1 日付けで委嘱を行いました（任期平成 25 年度総会まで）。

平成 24 年度は、総会資料原案を主要議題として会議を 1 回開催したほか、研修会・地区協議会の具体案については E メール等を活用して意見集約・意思決定を行い、議事運営の迅速化・効率化を図りました。このため、会議自体の開催は第 1 回のみとなりました。

◇ 企画運営委員会構成委員（新委員は平成 24 年 6 月 1 日付け委嘱）

春日井市（会長）、江南市・知立市（副会長）、名古屋市・阿久比町・安城市（理事）、新城市・田原市（監事）、豊橋市（前会長）、津島市・みよし市（前副会長）、豊田市（会長より指名・新委員）

◇ 企画運営委員会会議

第 1 回 日時：平成 24 年 6 月 1 日（金）午後 1 時 30 分～3 時 30 分

主要議題：総会資料について・研修会について・その他

会 場：名古屋市教育館（名古屋市中区錦三丁目 16 番 6 号）

第 2 回 以降は開催せず。

会報作成及び刊行物のデジタルデータ化

平成 24 年度事業をまとめた会報『愛史協』第 22 号を PDF データにて作成・発行した他、過去に作成した『愛知県史跡整備事例集』（2009 年刊行）・『愛知県名勝・天然記念物保護活用事例集』（2011 年刊行）を電子読み取りによりデジタルデータ化(PDF データ)しました。PDF データには簡易検索機能も備えており、情報検索がより簡便になりましたので、机上の参考資料として今まで以上にご活用ください。

加盟団体一覧

尾張地区（22 団体）

名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、知多市、豊明市、愛西市、長久手市、東郷町、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町

三河地区（15 団体）

豊橋市、岡崎市、豊川市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、新城市、知立市、田原市、みよし市、幸田町、設楽町、東栄町、豊根村

※加盟団体は、平成 23 年度末の状況です。